

第8回神人祭

人間科学部 人間科学科スポーツ健康コース1年 佐野史織 菊池綾乃

1. はじめに

2月1日(土)に第8回神人祭が行われました。神人祭というのは神奈川大学人間科学部の学科祭です。スポーツ健康コースを中心としたゼミが集まり、ゼミ対抗のスポーツ大会を実施しました。今回、私たちは実行委員として神人祭に関わらせていただきました。昨年度に実行委員として経験した先輩の下、昼休みなどの時間を利用し、企画運営に携わりました。実行委員の多くの人は部活



高める儀式

動に加入しているということもあり、集まるのが大変でしたが無事に成功してよかったです。

2. 午前の部

当日は朝早くから実行委員が集まり、各種目の準備を行いました。急遽、参加できなくなったゼミもあり、5つのゼミによる対抗戦になりました。1種目は「バレーボール」から始まりました。スポーツ健康コースということもあり、各ゼミにはレベルの高い選手が多く、白熱とした戦いになりました。

2種目は「大縄跳び」を行いました。一斉跳びと八の字跳びの2つで競いました。ゼミ内で作戦をたて練習をしたり、回し方のコツなどを考えたりと、チームの団結力が強くなったと感じました。午前は団体種目を取り入れたということもあり、ゼミの仲が一段と縮まることが出来たと思います。

3種目目は、「出来て当たり前ゲーム」でした。

このゲームは、出来て当たり前の動作を制限時間内にチャレンジするという種目です。各ゼミから代表が皆の前であることや制限時間等のプレッシャーに耐えながら課題をこなします。

菟弱ゼリーをプリンのようにプッチンしたり、二人一組でコイントスをしたり、所属ゼミの先生のフルネームを書いたりしました。成功・失敗共に歓声があがり、観客も楽しめた競技ではないかと思います。

3. 午後の部

午後始めの競技は、「障害物リレー」でした。今年の障害物リレーは、三人1組で各ゼミ、コースを周り、三組のリレーの総タイムで順位を決めます。

この競技の見所は三人が力を合わせ、ゴールを目指す所であると思います。三人のうち一人が仮装し、お姫様だっこをしたり、馬跳び、三人四脚を課題をこなしながらゴールを目指します。

午後の2種目目は綱引きを行いました。綱引き

は、総当たり戦で行い、各ゼミの結束力が試されるものとなりました。一戦一戦、声をかけ合いながら白熱し、盛り上がりしました。

最終種目はゼミ対抗リレーを行いました。最後ということもあり、緊張感はより一層高まり、どのゼミも盛り上がりました。しかし、順位のジャッジミスというハプニングが発生してしまい、ゼミ間での不平・不満を作ってしまった。実行委員の判断も必要ですが、簡単に「判断」するのはなく、何事も「検証」することが大切だと学ぶことができました。

神人祭は、まだ8回目ということもあり、歴史はまだ浅い行事です。このような行事があるというのを一人でも多く知ってもらえたら幸いです。



白熱!! 綱引き!!

4. 最後に

今回このような企画運営に関わることが出来たのを誇りに思います。常に先を考えて行動することの大切さ、限られた時間の中でどのようにやっていくか、どうしたら参加者が楽しめるのかなど多くの事を学ぶことができました。大きなイベントを通して、「最後までやり抜く」というのが身についたと思います。



息ぴったりな三人四脚!

